今年もやります、理学ラボ探検
前期は2~3年生、後期は1~2年生が対象！

参加学生の声(2019年実績)

Q. ラボ探検に参加して良かったですか？

A. はい（１００％）　いいえ（０％）

具体的な声

・将来の研究室配属のイメージを掴むことができた。
・学生実験ではなく、実際の研究がどういうものか実感できた。
・今後の学生生活の高いモチベーションにつながった。
・大学という組織に所属しているならではの良い経験だった。
・自分がやっている勉強がどうつながっていくか実感できた。
・一足早く大学院レベルの学問に触れることができた。
・研究室の教員の人柄が良くわかった。
・このような体験を無料でできるのはとても貴重だと思った。
・先輩や先生から研究室選びや将来について話が聞けた。
・卒研の一場面を見ることができ、具体的なイメージを持てた。

参加教員の声（2019年実績）

Q. ラボ探検は今後も継続したいですか？

A. はい（１００％）　いいえ（０％）

具体的な声

・学部生～卒研生～大学院生～教員のつながりが強くなった。
・大学での研究を紹介する良い機会になった。
・参加した学生がためになったと喜んでいた。
・教員の性格も理解でき研究室選びのミスマッチを防げる。
・学生の興味について意見交換ができた。
・実際の研究室の体験は、今後の進路選択に役立つ。
・学生の研究へのモチベーションが高くなった。
・学生の興味や理解度を把握できた。

詳細は後日告知します。

学生からも教員からも好評の「理学ラボ探検」を
規模を拡大して2020年も実施します！

Now
1年生
2年生
3年生

・どんな道を歩むと、どんな将来が待っているの？
・就職するまでのイメージが持てない・・・。
・研究室って、何をしているの・・・？

Future
研究室
大学院
就職

お悩み解決！

将来を先取り体験し、研究・就職の実感を先取りできる理学部独自のプログラム

1 理学ラボ探検

研究室配属の先取り体験

内容 希望する研究室での研究活動に参加

Point!
・研究のための実験とは？
・研究のための勉強とは？
・そもそも、研究とは？

卒業研究を本格的に始める前に各教員の研究内容を体験し、自分の目指したい研究室を探すことができます。また、「研究をする」ということを早い段階から体感することができるチャンスです。

対象 前期：理学科2年生、3年生
後期：理学科1年生、2年生

2 理学キャリア探検

就職活動・就業活動の先取り体験

内容 就職した先輩達の貴重な経験談を聞こう

Point!
・どんな学生生活を送ったか？
・どんな研究生活を送ったか？
・その結果、どんな今がある？

理学部で学生生活を送った先輩方の就職への道のりを聞くことで、自分の目指したい将来像（ロールモデル）の具体的なイメージをつかめます。先輩たちも、色々な道を歩んでいるのです。

対象 理学導入科目「理系のキャリアデザイン」受講者

理学ラボ探検 実施要項（学生向け）

1．目的

山形大学理学部が擁する最先端の研究機器・理論背景の一端に触れるとともに先輩・国内外研究者・教員との講義外での交流を通じて自身が目指す研究分野に対する理解を深め、3 年生以降にある研究室配属・大学院進学・就職活動などキャリアパスへ向けた情報を収集する。

2．実施内容

各研究室の卒業研究と同程度の実習（実験・文献講読・討論・輪読・ゼミなど）を体験する。実施期間は受け入れ学生決定から 2020 年 9 月末まで、実習時間はこの期間内で通算 10 時間以下とし、その範囲内で各研究室が決定する。実習は、月～金曜の 1～5 コマ内での開催とする。

3．対象

理学部理学科の中で希望する学生。進路や大学院進学志望の有無は問わない。前期実施時は 2~3 年生、後期実施時は 1~2 年生が対象。

4．実習に関する注意事項

(ア)受け入れ研究室リストをよく確認し、記載されている実習時期・時間・回数に全て参加できることを確認した上で希望を出す。詳細が不明な場合や実習時間帯に関して相談がある場合は、事前に受け入れ研究室の教員に確認する。

(イ)やむを得ず実習日に欠席をする場合は、事前に担当教員へ連絡を入れる。

(ウ)受け入れ研究室のルールおよび教員・研究室の学生の指示に従う。

(エ)学研災・学研賠への加入は必須。加入していることを確認した上で申し込みをする。

(オ)実習後にアンケートを依頼する場合があるので、必ず回答をする。

(カ)質問・事故・トラブル・困りごとがあった場合は並河（nabika@sci.kj.yamagata-u.ac.jp, 理学部 1 号館 321 号室）まで申し出る。

5．申し込みについて

受け入れ研究室リストの中から、希望する研究室を第一希望から第五希望まで記入する。第二希望から第五希望の記入は必須ではない。受け入れ人数を超える応募があった研究室では、抽選により受け入れ学生を決定する。第一希望の研究室で選外となった場合は、第二希望以降の研究室のうち、受け入れ人数に空きのある研究室への配属を抽選により決定する。コースカリキュラム等による制限はなく全ての研究室から自由に選択できる。

6．申し込み方法

https://forms.gle/zxsm5XNa9EwCW3oA7　　または右の QR コードから

7. 各種日程

申し込み締め切り：2020 年 4 月 17 日（金）12:00（6 の URL または QR コードから）

配属発表：2020 年 4 月 30 日（木）12:00（Web クラスにて）

理学ラボ探検　参加申し込み

*必須

氏名（必須） *

回答を入力

メールアドレス（必須） *
記入内容に誤りがある場合などに連絡をしますので確実に連絡可能なアドレスを入力してください。

回答を入力

第一希望研究室（必須） *

回答を入力

第二希望研究室

回答を入力

第三希望研究室

回答を入力

第四希望研究室

回答を入力

第五希望研究室

回答を入力

学研災・学研賠へ加入していますか？（必須） *

- はい
- いいえ

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 不正行為の報告 - 利用規約

Google フォーム

2020前期ラボ探検　受け入れ研究室一覧

分野・領域	教員名	分野名	内容	時間・時期・回数など	受入人数	メールアドレス	研究室HP
数理科学・データサイエンス系	脇　克志	数理科学	和算書画像データの画像アノテーション	1回3時間の作業を最大3回行う。時期は5月から7月	4	waki@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	https://www.waki-lab.net/
	塩見　大輔	数理科学	整数論の専門書を輪読する。特に、合同式の扱い方について学ぶ。	6月~7月、１回1時間を５回程度	4	shiomi@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	
	奥間　智弘	数理科学	セミナーの見学：代数関連の本の輪読またはディスカッション	6月から7月に1.5時間または3時間を4回程度（詳細は相談する）	4	okuma@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	
地球科学系	湯口　貴史	岩石学・鉱物学	岩石鉱物の観察・分析の体験，ゼミへの参加	5月～7月　１回1 時間を5 回程度。（開催日時は相談により決定）	2	takashi_yuguchi@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	
	伴　雅雄	地球科学	蔵王火山の調査体験：蔵王山に出向き、火山の調査研究を体験します。	5月頃に事前打ち合わせを行います。その際に調査日を相談します。調査日は今のところ8月上旬の1日（9～16時）を考えています。現地への移動手段などはこちらで準備します。	4	ban@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	http://yudb.kj.yamagata-u.ac.jp/html/631_ja.html
	本山　功	地球史科学	放散虫エキスパート養成講座（分析・観察・論文）	１回２～３時間を３回程度	3	i-motoyama@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	
	常松　佳恵	地球科学	研究室の見学と火山物理学や研究内容についての座談会。	4月～7月の午後（開催日時は相談により決定、希望者はメールで連絡すること）	10	kae_tsunematsu@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	
	ジョルダン	古生物学	微化石の観察・光学顕微鏡の使い方	６月~７月、１回1 時間を３ 回程度。(開催日時 は相談により決定)	3	sh081@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp	
	岩田　尚能	地球年代学	希ガス質量分析技術の解説と実験室見学	４～５月，１回１時間半程度を２回程度．（開催日時は相談により決定）	3	iwata@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	
物理学系	門叶　冬樹	原子核・宇宙線物理学	ニホニウムに続く新元素探査実験・宇宙線強度変動の研究・重粒子がん治療について、その理論と簡単な実習を行います。	1回あたり１～２時間を3回程度	3	tokanai@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	http://www.yu-ams.jp/
	富田　憲一	物性理論（計算科学）	フェルミ粒子と線形代数	1回1時間程度を5回程度	制限なし	tomita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	https://tomita916.wixsite.com/-site
	大西　彰正	物理学	ゼミ体験	１回あたり最大1.5時間、5回程度	3	sj067@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp	
	宮地　義之	原子核物理学実験	核磁気共鳴（NMR）実験	７月～９月　開催日時は相談により決定	2	miyachi@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	http://www.quark.kj.yamagata-u.ac.jp/
	田島　靖久	素粒子原子核実験	放射線計測実験と解析	相談により決定。1回1~2時間を3~4回	4	tajima@quark.kj.yamagata-u.ac.jp	http://www.quark.kj.yamagata-u.ac.jp/
	衛藤　稔	素粒子理論物理学	研究室の文献紹介やセミナーの聴講	前期の間に３回程度（１～２時間/１回）	2	meto@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	http://kscalar.kj.yamagata-u.ac.jp/particle/
	新井　真人	素粒子物理学理論	研究室の文献紹介ならびにセミナーの聴講	前期の間に3回程度（1回あたり１～２時間）	3	arai@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	http://kscalar.kj.yamagata-u.ac.jp/particle/
	中森　健之	物理	研究紹介、ゼミ聴講、検出器体験、天体データ解析体験など。細部は応相談	1×5時間程度。増減は相談可。	5	nakamori@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	http://maxwell.kj.yamagata-u.ac.jp/~nakamori/
	北浦　守	光物性物理学	結晶性固体のレーザー分光実験の体験、蛍光X線ホログラフィーによる構造解析の体験など	半期1-2回で行います。日時や探検時間、内容は希望に沿って相談して決めたいと思います。	2	kitaura@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	https://www.facebook.com/yamagata.busei/
	安東　秀峰	物理学	量子力学と化学の接点について簡単な講義と計算機シミュレーション	４月中旬以降，１回１時間を３～４回程度	3	ando@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	http://phys.kj.yamagata-u.ac.jp/~ando/
	村瀬　隆史	有機合成化学	研究室で実際に行っている有機合成を体験します（Wittig反応を予定）。反応追跡や目的生成物の精製・単離など、学生実験との違いを知ることができます。	5月～7月、1回3～4時間を3回。（開催日時は相談により決定）	4	tmurase@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	https://murase-lab.org
	金井塚　勝彦	無機化学	研究室内の研究報告会の聴講。研究内容や議論の様子を見ることができます。	４月～８月、１回１～２時間。１～２回程度。	5	kanaizuka@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	http://kanaizukalab.com/

化学系	栗原　正人 石崎　学	化学	ナノ粒子合成とその機能評価・分析、デモンストレーション	5月～7月、一グループ（3名）につき2時間半程度（一日で終了）、最大３グループ対応（開催時期は相談により決定）	9	manabu-ishizaki@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	http://ishizaki-lab.main.jp/, https://kurihara-lab.org/
	奥野　貴士	化学	1)か2)を選択します 1)ヒト培養細胞を用いた筋ジストロフィー原因遺伝子のイメージング解析 2)さくらんぼorラフランスの開花、果実成熟過程のイメージング解析	5～9月　90分程度を5回予定（日程は相談して決めます）4名程度のグループに分けて実施します。	20	okuno@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	ありませんので、直接見に来てください。
	崎山　博史	分子構造シミュレーション	コンピュータによるシミュレーション。Windowsノートパソコンの持参が必須。	5月～6月初旬、1回1時間を3回。（開催日時は相談により決定）	3	saki@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	http://hp.vector.co.jp/authors/VA013549/saki/indexj.html
	臼杵　毅	化学	アモルファス物質に対する熱物性測定、構造測定、モデリング(シミュレーション)などの体験実習	５～６月、２時間程度１回（開催日は相談により決定）	9	usuki@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	
	冨樫　貴成	化学	ナノ結晶合成補助・電子顕微鏡像の解析	6月に1回を3時間程度、3回	3	togashi@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	
	松井　淳	化学	高分子合成。実際に高分子材料を作ってみます。	6月～9月(開催時期は相談により決定）。1回目3h, 2, 3, 4回目は1.5 hを予定。	3	jun_m@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	https://matsuilab.localinfo.jp
	並河　英紀	化学	自然界や生体内を想定した非平衡系での化学反応に関する実験	５月～８月、1回90分程度を5回。（開催日時は相談により決定）	5	nabika@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	https://www.nabika-lab.org/
	田村　康	分子細胞生物学	1. DNAワークの体験（PCR, 電気泳動など） 2. 蛍光顕微鏡を使った細胞内の観察手法の体験（培養細胞の培養，DNAのトランスフェクション，細胞の固定化，観察）	5月-7月，参加者との話し合いによって決定：一回数時間（内容1, 2につき3回ずつ合計6回程度）	6	tamura@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	https://www.tamuralab.com/
生物学系	藤山　直之	進化生態学	①植食性テントウムシの食性査定実験、②植食性テントウムシのDNA塩基配列の分析、③バッタ類の交尾行動観察（※全て仮）	6月以降、各テーマにつき1.5時間を3回（開催日時は相談により決定）	6	n_fujiyama@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	http://naofuji1969.web.fc2.com/
	宮沢　豊	生物学	植物の水ストレス応答能の観察および関連する分子生物学的実験（遺伝子型の判定等）	1回90分程度x6回（開催日時は相談により決定）	2	miyazawa@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	
	中内　祐二	比較形態学・生化学	筋肉タンパク質の分離とその細胞内局在の検討に関する生化学的実験および顕微鏡画像解析	6月～7月、1回90分×5回（開催日時は相談により決定）	4	yuni@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	http://www-sbiol.kj.yamagata-u.ac.jp/~nakauchi/